



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第112号
平成26年 9月19日発行
編集・発行
社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
広報委員会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ www.iwaki-shakyo.com
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

地域の福祉、みんなで参加!



市内各地での街頭募金（内郷地区）

目次

今年も共同募金のご協力を.....	2
役立てました共同募金.....	3
報告します 平成25年度事業報告・決算	
障がい者避難行動支援訪問活動事業.....	4～5
ボランティア活動センター通信.....	6
社協通信.....	7
地区協議会だより.....	8

愛ちゃんと希望くん



© 中央共同募金会
共同募金会イメージキャラクター



**今年も共同募金に
ご協力をお願いいたします**



社会福祉法人
福島県共同募金会
いわき市共同募金委員会

会長 宇佐美 忠一

この度、前小野清十様の後任として、5月から会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様には、赤い羽根共同募金運動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年も、10月1日から「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに全国一斉に共同募金運動が行われます。赤い羽根共同募金は、昭和22年に国民たすけあい運動として始まって以来、たすけあいの仕組みとして広く市民の間に定着しています。お寄せいただいた善意の寄付金は、社会福祉施設の施設整備やNPO法人、ボランティアグループの活動支援、火災や水害などの罹災者への見舞金等に配分されているところです。

いわき市共同募金委員会は、募金をしていただいた皆様にこれまで以上に「見える募金」を目指し、地域住民による、住民支え合い活動への助成を通じ、地域の皆様と手を携えながら、地域福祉の充実に取り組む民間団体を支援して参る考えでありますので、今年も皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



平成26年度 いわき市の目標額

赤い羽根共同募金 5,616万9,000円

歳末たすけあい募金 2,627万0,000円

●赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。

●歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。

共同募金に目標額があるのは、共同募金が民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行う計画募金だからです。



※共同募金（歳末たすけあい募金を含む）は、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。募金期間は厚生労働大臣の告示により10月1日から12月31日までの3カ月と定められています。

**ありがとう
メッセージ**

共同募金が園児の笑顔に！

社会福祉法人三寶護念会
三 宝 保 育 園

20数年前に小型バスを購入し、あちらこちら修理しながら大事に使用してきました。しかし、さすがにこれ以上使用するのは危険で、震災により園舎も全壊となり、資金繰りについて思案に暮れていたところ、赤い羽根共同募金をはじめ、皆様の温かい援助のおかげで念願の小型バスを購入することができました。

本当にありがとうございます。

子どもたちも「新しいバスだ！」と大騒ぎです。これからこの新しい小型バスを大事に大事に使用していきたいと思います。





役立てました! 共同募金

平成
25年度

赤い羽根共同募金 5,494万8,117円

歳末たすけあい募金 2,626万5,964円

※お寄せいただいた募金は、一旦福島県共同募金会に集約された後、県の配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みとなっています。



© 中央共同募金会

●赤い羽根共同募金の使われ方●

いわき市には、総額4,411万円が配分されました。

①安心して利用しやすい福祉施設づくりとして14施設へ1,774万円が配分されました。

(単位：千円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
愛宕保育園	1,860	大型遊具購入費	創造空間	820	備品購入費
生活介護事業所ポポロ	950	機器整備購入費	ひまわり作業所	140	エアコン整備費
フルクテン夏井	1,860	車両整備費	三宝保育園	2,570	車両・備品購入費
いわき学園	3,000	車両購入費	未来空間	250	避難階段設置費
わいわい作業所	2,440	備品購入費	好間作業所	250	小規模障がい者施設運営費
はまなす荘	1,240	福祉車両整備費	てらす	250	小規模障がい者施設運営費
自立生活きらきら	1,860	作業用ワゴン車購入費	まごころワーク	200	小規模障がい者施設運営費

②福祉活動を推進する団体への支援として2団体に63万円が配分されました。

(単位：千円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき声の奉仕グループ	380	デジタル編集機器等整備
視覚障害者サポートグループゆかり	250	サポーター講座

③市町村社会福祉協議会活動を推進するために2,496万円が配分されました。

(単位：千円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき市社会福祉協議会	24,961	地域福祉活動・在宅サービス事業など

④非常災害や緊急事態に対する見舞金として罹災者^{りさい}に78万円が贈られました。

(単位：千円)

	配分額	配分金の使途
災害見舞金	775	火災や水害の罹災(りさい)者への見舞金(火災8件、床上浸水127件、その他4件)

●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額2,116万円が配分され、市内の低所得者世帯などの皆様へ届けられました。 (単位：千円)

配分などの区分	配分額	配分金の使途
見舞金	12,548	生活困窮世帯(902世帯)＊在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	8,608	防水シーツ(284世帯)や高齢者世帯への健康情報カレンダー配布(11,500部)など

実施した主な事業

- 小地域福祉活動の推進
市内23行政区（4, 025世帯）指定
- 災害時等要援護者マップ作成事業：10力所
- 住民福祉座談会：15力所
- 車椅子同乗移送用自動車の貸し出し
利用件数：54件
- いきいきデイクラブ事業
市内113箇所実施
実施回数：1, 185回
延利用者数：18, 999人
新規拡充数：17力所
- ひとり暮らし高齢者等への緊急連絡カード配備事業
配備者数：5, 588人
- 子育てサロン事業
実施箇所数：23カ所
実施回数：240回
延参加組数：2, 821組
- 子育て支援情報誌配布事業
発行部数：5, 000部
- 福祉活動支援バス借上げ助成事業
助成団体数：17団体

報告します

平成25年度事業報告・決算

平成25年度の事業推進は、第2次地域福祉活動計画に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」の実現に向けて、関係機関・団体などの協働のもとに地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

★地域福祉事業

★各種貸付事業

- 地域子育て支援拠点事業
延利用者数：大人3, 388人
子人3, 345人
相談件数：84件

- 生活資金・生活福祉資金の貸し付け
生活資金貸付件数：161件
（総額4, 00万2, 300円）

- 生活福祉資金貸付件数：94件
（総額1, 475万7, 500円）

★日常生活自立支援事業

- 日常生活自立支援事業
25年度契約件数：11件（利用人数32人）

★ボランティア活動センター事業

- 児童・生徒向け高齢者疑似体験等
参加児童・生徒数：4, 923人
- サマーショートボランティアスクール
参加学校数：14校
参加生徒数：116人

- 各種ボランティア講座
ボランティア講演会：120人

- 福祉レクリエーションボランティア入門講座：39人
- 子育てサロンボランティア研修会：61人
- 傾聴ボランティア養成講座：82人
- 傾聴ボランティアフォローアップ講座：31人

★共同募金運動の推進

- 赤い羽根共同募金運動の推進
募金実績額：5, 494万8, 117円
- 歳末たすけあい運動の推進
募金実績額：2, 626万5, 964円

★福祉人材確保事業

- 福祉人材確保事業
福祉の仕事相談件数：25件

★福祉総合相談センター事業

- 一般相談（民生委員、地区社協による相談）
相談件数：208件
- 無料法律相談（弁護士による相談）
相談件数：92件

★ホームヘルプセンター事業

- 在宅福祉サービス事業
居宅介護支援事業：3, 300人
訪問介護事業：1, 300人（16, 111回）
訪問入浴介護事業：892人（3, 390回）
介護予防訪問介護事業：657人（4, 327回）
- 身体障がい者訪問入浴サービス事業
延利用者数：158人（669回）
- 障がい福祉サービス事業
延利用者数：66人（734回）

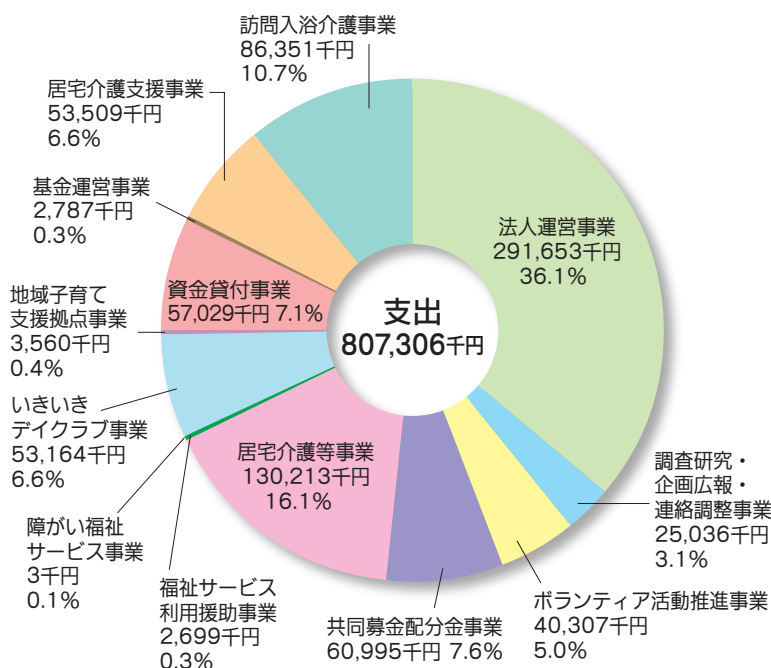
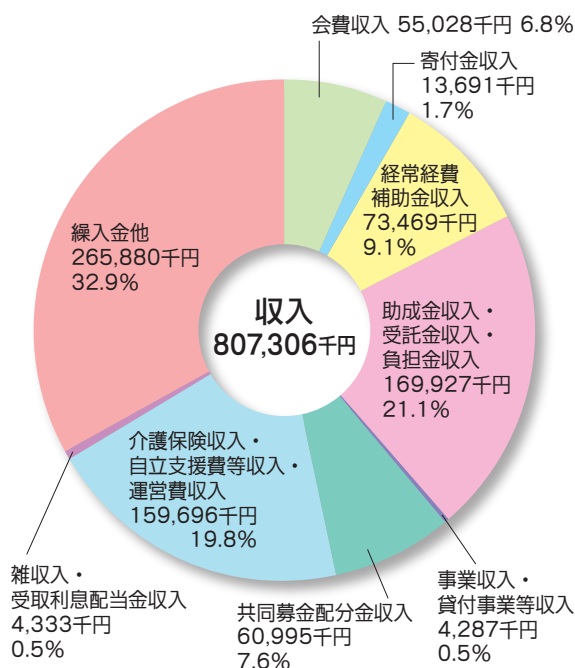
★被災者支援事業

- 復興支援ボランティア活動センター
ボランティア活動者数：60, 173人
ニーズ受付件数：7, 521件
マッチング件数：7, 497件
- 生活支援相談員活動
生活支援相談員配置状況：27人
対象世帯数：1, 923世帯
延訪問状況：76, 428件
交流会実施回数：728回

●いきいき交流サロン

- いきいき交流サロン
実施回数：139回
延参加者数：3, 680人

平成25年度 収入・支出のあらまし



障がい者避難行動支援 訪問活動事業

目的

災害時やそのおそれがある場合に、避難行動に支援が必要な在宅の障がい者が、地域での支援が得られ、安心・安全に暮らすことができるように要援護者登録の支援を行う。

対象者

在宅の障がい者（身体障害者手帳1級・2級の交付を受けている方）で避難行動に支援を要する方。

内容

支援員が対象となる障がい者の御自宅を訪問し、

- ①災害時要援護者登録の支援
- ②災害時要援護者台帳の更新のお手伝いをします。

詳しくは 生活支援課 電話 23-3320 (代)



福祉の仕事を目指すあなたと 福祉の職場を結びます

「福祉の職場で働きたい!」「資格取得方法を知りたい!」そんな方はお気軽に福島県福祉人材センターへご相談ください。

福島県福祉人材センターは、法律に基づく公的な機関で、福祉の仕事を探している方と、人材を求めている福祉の職場（福祉施設等）との橋渡しの役割を担っています。

福祉の仕事相談会

求職登録の受付や各種相談に応じます。

◆日時：毎月第2水曜日

※相談受付時間 10:00～15:00

◆会場：いわき市社会福祉センター

(いわき市平菱川町1番地の3)

詳しくは 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
人材研修課 福祉人材センター

電話 024-521-5662

<http://www.fukushimakenshakyō.or.jp>

ボランティア活動センター通信

第24回サマーショートボランティアスクールを開催しました!!

今年で24回目を迎えたこのスクールは、夏休み期間を利用し、高校生の皆さんに、市内の福祉施設等で主体的にボランティア活動体験する機会を提供し、人との出会いや体験を通して、「自分自身の生き方・人間や社会を見つめる力」を育み、自分たちの住む地域社会の現状や課題を理解していただくことを目的に開催しています。

今年で24回目を迎えたこのスクールは、夏休み期間を利用し、高校生の皆さんに、市内の福祉施設等で主体的にボランティア活動体験する機会を提供し、人との出会いや体験を通して、「自分自身の生き方・人間や社会を見つめる力」を育み、自分たちの住む地域社会の現状や課題を理解していただくことを目的に開催しています。



利用者と笑顔でふれあう高校生

●活動先のご紹介（福祉施設・ボランティアグループ）

救護施設 やしおみ荘	特別養護老人ホーム 幸寿苑	特別養護老人ホーム はなまる共和国
特別養護老人ホーム 亀齢荘	特別養護老人ホーム かしま荘	特別養護老人ホーム ハートフルなこそ
特別養護老人ホーム 楽寿荘	特別養護老人ホーム 翠祥園	老人保健施設 ヘルスケアホームいわき
老人保健施設 小名浜ときわ苑	老人保健施設 ガーデニア	老人保健施設 佳勝園
老人保健施設 サンライフゆもと	老人保健施設 サンファミリー	軽費老人ホーム 悠々の里
障がい者支援施設 はまぎく荘	障がい者支援施設 いわき光成園	障がい者支援施設 福祉サービス事業所ボボロ
障がい者支援施設 アルケン	障がい者支援施設 アライブ	障がい者支援施設 なないろくれよんデイルーム
障がい者支援施設 のはら	障がい者支援施設 つばさ	障がい者支援施設 あとりえ北山
障がい者支援施設 虹のかけはし	障がい者支援施設 創造空間	障がい者支援施設 ミント
障がい者支援施設 かがやき	障がい者支援施設 きらきら	障がい者支援施設 ちゃーむ
障がい児支援施設 第2 ちゃーむ	障がい児支援施設 セカンドハウスわくわく	障がい者支援施設 福島整肢療護園
独立行政法人 国立病院機構いわき病院	白土保育所	あさひ保育園
窪田保育所	菊田保育所	山田保育所
小川保育所	三阪保育所	特定非営利活動法人 ザ・ピープル
勿来地区ボランティア連絡会	いわき点訳グループ	いわき手話サークル

●参加高等学校

磐城第一高等学校	磐城緑陰高等学校	東日本国際大学附属昌平高等学校	いわき光洋高等学校
いわき翠の杜高等学校	磐城農業高等学校	いわき総合高等学校	小名浜高等学校
平工業高等学校	平商業高等学校	遠野高等学校	勿来工業高等学校
湯本高等学校	好間高等学校	四倉高等学校	翔洋学園高等学校
双葉高等学校	富岡高等学校	双葉翔陽高等学校	(順不同、敬称は省略させていただきます)

福祉レクリエーションボランティア入門講座

～ボランティアへの第一歩を学びました!!～

平成26年7月26日（土）から、高齢者福祉施設での実践を含めた全3回コースで、「福祉レクリエーションボランティア入門講座」を開催しました。

福祉レクリエーションワーカーの七海多美子氏を講師に招き、レクリエーションの必要性やボランティアの第一歩として「自分が楽しむこと」など、多くのことを学びました。



レクリエーションを覚えて福祉施設で実践し、高齢者の方々と楽しい時間を共有しました。

第40回

いわき市総合社会福祉大会のご案内

社協通信

いわき市といわき市社会福祉協議会の共催により、福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を高めていく「いわき市総合社会福祉大会」の開催を次の日程で開催いたします。

市民の皆様も、ぜひご参加ください。



●日 時

平成26年10月6日（月） 午後1時15分から

●会 場

いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール
（いわき市平字三崎1番地の6）

●内 容

◇表彰・感謝状贈呈

＊いわき市長感謝

＊社会福祉大会会長

表彰・感謝

◇第40回記念アトラクション

「フラダンス」（平商業高等学校）

◇記念講演

演 題 『困難に挑むおもしろさ』

講 師 石田 ゆうすけ 氏

（旅作家／エッセイスト）



支え合い活動実践講演会

住民一人ひとりが手を取り合い、支え合える“支援の輪”を構築するため、市内の区長さんや民生委員さん、地域福祉活動に関心のある方など、広く福祉の担い手を対象に講演会を開催いたします。

地域づくりの主役は、みなさんです！

- 1 日 時 平成26年11月16日（日）午後1時30分
2 会 場 いわき市社会福祉センター 5階大会議室
3 対 象 地域福祉活動に関心のある方
4 参加費 無料
5 講 演

(1) 演題 『つなぎ、つながりあい、支えあう
～豊かな暮らしとは～』

(2) 講師 山下 英三郎 氏
（日本社会事業大学
名誉教授）



申込方法

氏名・電話番号をご記入の上、郵送・FAX・Email又は電話等でお申込みください。

▼お問い合わせ先：地域福祉課

電 話：23-3320(代) FAX：35-5031

Email：master@iwaki-shakyo.com

住 所：〒970-8026 いわき市平菱川町1番地の3

傾聴ボランティア養成講座

「傾聴とは何か」「傾聴の必要性」などについて学び、その技術を活かしながら、悩みや不安を抱える方々の話し相手になるボランティアの養成講座を開催します。

皆さん、気軽に参加してみませんか！

- 1 日 時 平成26年10月18日（土）・25日（土）
午前10時～午後3時
2 会 場 いわき市社会福祉センター 5階大会議室
3 対 象 全日程受講できる方
4 定 員 30名
5 参加費 無料
6 講 師

柳澤 孝主 氏（いわき明星大学人文学部教授）

菊池 真弓 氏（いわき明星大学人文学部教授）

菅野 昌史 氏（いわき明星大学人文学部准教授）

浄土宗福島教区浜通り組青年会

7 申込期限 平成26年10月10日（金）

8 申込方法 住所・氏名・電話番号をご記入の上、郵送・FAX・E-mail又は電話等でお申込ください。

▼お問い合わせ先：ボランティア活動センター

電 話：38-6631 FAX：38-6632

Email：saigai-vc@iwaki-shakyo.com

住 所：〒970-8026 いわき市平菱川町1番地の3

参加者募集!!

地区協議会だより

いわき市社会福祉協議会は、市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

◆常磐地区協議会 (湯～らり温泉めぐり)



湯本温泉を活用し、高齢者同士の交流を図ることを目的に、いわき湯本温泉共同組合の協力により開催しています。

今年度は120名(4班編成)が参加し、毎月1回ゆったりと温泉に入り、仲間と季節行事等を楽しみながら充実したひとときを過ごしています。

◇詳しくは、常磐地区協議会 ☎43-2111(代)まで

◆内郷地区協議会 (高齢者ふれあいの集い)



内郷地区老人クラブ連合会と共催で、地域内高齢者の交流と健康増進を目的に、内郷コミュニティセンターにおいて開催しました。

参加者85名は、輪投げやフリーブロー(浮き矢)、カーリンコンなどのニュースポーツで汗をかいて、団体・個人戦の優勝を目指して楽しい一日を過ごしました。

◇詳しくは、内郷地区協議会 ☎27-8707まで

◆好間地区協議会 (介護予防教室)



いつまでも健康で、いきいきと生活できるよう、6月(計4回)に高齢者を対象としたピアノカ奏を開催しました。ピアノカを吹くことで、心肺機能の向上及び認知症予防

防になるとともに、サークル活動へ発展したことにより仲間づくりにも繋がっています。楽しく演奏をしながら、自らの介護予防につとめています。

◇詳しくは、好間地区協議会 ☎36-2221(代)まで

◆四倉地区協議会 (小地域福祉活動)



柳生地区は平成25年度より小地域福祉活動指定区として様々な活動をしています。

このたび、柳生ニコニコガーデンクラブ指導のもと、大野二小全児童が花の植栽作業を通した美化活動に励み、笑顔が絶えない世代間交流となりました。

◇詳しくは、四倉地区協議会 ☎32-2114(代)まで



編集
後記

9月になり、時候の挨拶は「涼風の候」なのですが、連日残暑が続いていますね。

ちなみに候は、古い中国の暦によると、360日(陰暦は一年が360日)を72等分した単位(5日間)のことを示し、そこから「季節」・「時期」という意味が生まれたようです。

また、候が二つで「旬」=10日間という単位になり、一月を上旬、中旬、下旬と三つにわけるのはこの名残だそうです。広報委員一同

皆様の声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆様の声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にどうぞ。

住所: いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ ▶ www.iwaki-shakyo.com
メールアドレス ▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市社協
ホームページ